



## 平成30年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

平成30年5月16日

上場会社名 相模ゴム工業株式会社  
 コード番号 5194 URL <http://www.sagami-gomu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大跡 一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部本部長 (氏名) 吉田 邦夫  
 定時株主総会開催予定日 平成30年6月27日 配当支払開始予定日 平成30年6月28日  
 有価証券報告書提出予定日 平成30年6月27日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 046-221-2311

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期の連結業績(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	5,909	3.5	1,478	11.0	1,771	14.3	1,308	17.5
29年3月期	5,710	17.7	1,660	168.1	1,549	189.7	1,113	251.1

(注) 包括利益 30年3月期 1,548百万円 (52.4%) 29年3月期 1,016百万円 ( % )

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
30年3月期	120.44		24.6	14.0	25.0
29年3月期	102.50		26.6	16.3	29.1

(参考) 持分法投資損益 30年3月期 百万円 29年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期	15,235	6,288	39.4	552.98
29年3月期	10,094	4,853	45.9	426.13

(参考) 自己資本 30年3月期 6,005百万円 29年3月期 4,629百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
30年3月期	793	1,471	1,705	2,917
29年3月期	1,146	721	128	1,876

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
29年3月期				10.00	10.00	108	9.8	2.6
30年3月期				10.00	10.00	108	8.3	2.0
31年3月期(予想)				10.00	10.00		8.4	

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,250	9.9	900	9.2	900	4.8	650	1.7	59.85
通期	6,500	10.0	1,800	21.8	1,800	1.6	1,300	0.6	119.70

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期	10,937,449 株	29年3月期	10,937,449 株
期末自己株式数	30年3月期	77,998 株	29年3月期	74,553 株
期中平均株式数	30年3月期	10,860,799 株	29年3月期	10,864,715 株

(参考)個別業績の概要

平成30年3月期の個別業績(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	7,868	38.2	1,325	8.1	1,368	9.5	900	6.7
29年3月期	5,695	7.2	1,225	102.6	1,249	103.3	843	124.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期	82.92	
29年3月期	77.67	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
30年3月期	14,890		6,983		46.9		643.10	
29年3月期	11,330		6,163		54.4		567.43	

(参考) 自己資本 30年3月期 6,983百万円 29年3月期 6,163百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより個人消費が持ち直し、企業業績の好転を受け、民間設備投資も増加に向かいました。

しかし海外では中国や新興諸国の成長の鈍化や保護主義的な政策の台頭が懸念され、北朝鮮をはじめとする地政学的リスクなど、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような環境のもと、当社グループは国内外の旺盛な需要に対応するとともに事業の拡大を加速するため、新たな生産設備の拡充を進め、さらなる高収益を目指した販売活動に取り組みました。

これらの結果、当連結会計年度において売上高は59億9百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は14億78百万円（前年同期比11.0%減）、経常利益は17億71百万円（前年同期比14.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は13億8百万円（前年同期比17.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① ヘルスケア事業

ヘルスケア事業は、“愛のアイデア”をモチーフに、イベントの開催や展示会への積極的な出展など、ポリウレタン製コンドーム・サガミオリジナルのブランド力の強化に努めてまいりました。

また、市場ニーズに応えるためにサガミオリジナル0.01（ゼロゼロワン）の配荷率の向上を図り、サガミオリジナル0.02（ゼロゼロツー）も順調に推移したことにより売上高は、引き続き伸長しました。

一方、ポリウレタン製コンドームの増産に向けたマレーシアの新工場の建設は順調に進捗しており、新たな成長戦略は着実に進んでおります。

この結果、売上高は44億45百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は17億54百万円（前年同期比5.4%減）となりました。

#### ② プラスチック製品事業

プラスチック製品事業は、原油・ナフサ価格の高騰による原料高や物流費の上昇が続く中、継続的なコスト削減や多様なユーザーにマッチした製袋加工品の提供や新規顧客獲得のための営業力強化など市場の深耕拡大に努めてまいりました。

この結果、売上高は12億45百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は1億32百万円（前年同期比24.0%減）となりました。

#### ③ その他

その他の事業では、豊富な経験と厚い信頼を積み重ねてきた訪問入浴サービスや思いやりのある訪問・居宅介護サービスを提供する介護事業並びに障害福祉サービス等の社会福祉事業を担ってまいりましたが、売上高は2億18百万円（前年同期比1.0%減）、営業損失は36百万円（前年同期は営業損失36百万円）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

#### (イ) 資産

当連結会計年度末における資産の残高は152億35百万円となり、前連結会計年度末と比較し51億40百万円増加しました。

現金及び預金が10億41百万円、受取手形及び売掛金が5億29百万円、たな卸資産が1億61百万円、有形固定資産が31億81百万円増加しました。

#### (ロ) 負債

当連結会計年度末における負債の残高は89億46百万円となり、前連結会計年度末と比較し37億5百万円増加しました。支払手形及び買掛金が2億71百万円、設備関係支払手形が13億52百万円、長・短期借入金が19億7百万円増加しました。

#### (ハ) 純資産

当連結会計年度末における純資産の残高は62億88百万円となり、前連結会計年度末と比較し14億34百万円増加しました。利益剰余金が11億99百万円、為替換算調整勘定が1億48百万円増加しました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ10億41百万円増加し、29億17百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の営業活動により獲得した資金は、7億93百万円（前年同期比30.8%減）となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益が17億70百万円、減価償却費が2億52百万円、売上債権の増加額が5億11百万円、たな卸資産の増加額が1億15百万円、法人税等の支払額が5億2百万円あったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の投資活動により使用した資金は、14億71百万円（前年同期比104.0%増）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が14億74百万円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の財務活動により獲得した資金は、17億5百万円（前年同期比1,224.9%増）となりました。

これは主に、長・短期借入金の増加が18億23百万円、配当金の支払が1億8百万円あったことによるものであります。

（参考） キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期
自己資本比率（%）	47.6	42.1	45.9	39.4
時価ベースの自己資本比率（%）	78.9	96.6	132.4	132.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（倍）	5.6	3.4	3.1	6.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	56.4	125.0	161.3	109.1

（注） 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により計算しております。

※ 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の「営業活動によるキャッシュ・フロー」を使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の「利息の支払額」を使用しております。

### (4) 今後の見通し

今後の経済の見通しにつきましては、好調な企業業績を背景に、雇用・所得環境の改善が続き、穏やかな景気回復が続くことが期待されますが、国際情勢の不安定化や原油価格や為替の動向等、景気の下振れ懸念もあり、予断を許さない不透明な状況が続くことが予想されます。

このような状況下、国境を越えた情報やモノの移動により、マーケットが未曾有に広がりを見せ、ポリウレタン製コンドーム・サガミオリジナルが広く流布される中で、持続的成長に向けた生産設備の拡充を推し進め、さらなる利益の確保を目指してまいります。

次期の連結業績の見通しにつきましては、売上高65億円、営業利益18億円、経常利益18億円、親会社株主に帰属する当期純利益は13億円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,876,845	2,917,955
受取手形及び売掛金	2,051,278	2,580,727
たな卸資産	1,006,211	1,167,544
繰延税金資産	60,405	55,532
その他	42,886	185,067
貸倒引当金	△65,771	△59,653
流動資産合計	4,971,854	6,847,174
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,108,543	2,966,559
減価償却累計額	△1,341,339	△1,386,730
建物及び構築物（純額）	767,203	1,579,829
機械装置及び運搬具	5,322,272	8,057,655
減価償却累計額	△2,832,443	△3,119,313
機械装置及び運搬具（純額）	2,489,829	4,938,341
土地	841,577	1,107,487
建設仮勘定	392,460	45,043
その他	226,705	242,324
減価償却累計額	△175,790	△189,202
その他（純額）	50,915	53,121
有形固定資産合計	4,541,985	7,723,823
無形固定資産		
その他	5,703	7,887
無形固定資産合計	5,703	7,887
投資その他の資産		
投資有価証券	507,497	564,121
繰延税金資産	9,589	36,150
その他	77,303	71,490
貸倒引当金	△19,257	△15,581
投資その他の資産合計	575,133	656,181
固定資産合計	5,122,822	8,387,892
資産合計	10,094,677	15,235,066

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	413,510	684,646
短期借入金	3,211,560	4,641,840
未払法人税等	332,520	288,544
賞与引当金	70,722	78,820
設備関係支払手形	28,860	1,380,902
その他	447,406	626,069
流動負債合計	4,504,580	7,700,822
固定負債		
長期借入金	352,000	829,155
役員退職慰労引当金	287,345	321,317
退職給付に係る負債	85,482	87,344
資産除去債務	5,328	5,345
長期預り保証金	1,400	1,400
その他	4,806	1,502
固定負債合計	736,362	1,246,064
負債合計	5,240,942	8,946,886
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	547,436	547,436
資本剰余金	681,385	681,385
利益剰余金	4,082,166	5,281,634
自己株式	△25,829	△31,147
株主資本合計	5,285,158	6,479,309
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	224,775	257,972
為替換算調整勘定	△880,901	△732,189
その他の包括利益累計額合計	△656,126	△474,216
非支配株主持分	224,702	283,087
純資産合計	4,853,735	6,288,179
負債純資産合計	10,094,677	15,235,066

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
売上高	5,710,305	5,909,351
売上原価	2,812,141	3,102,809
売上総利益	2,898,164	2,806,541
販売費及び一般管理費	1,238,092	1,328,537
営業利益	1,660,071	1,478,004
営業外収益		
受取利息	5,080	2,426
受取配当金	14,067	14,132
作業くず売却益	14,170	12,495
不動産賃貸料	3,240	2,936
為替差益	-	259,817
その他	15,440	9,172
営業外収益合計	51,998	300,980
営業外費用		
支払利息	6,897	7,208
為替差損	155,587	-
その他	120	700
営業外費用合計	162,605	7,909
経常利益	1,549,464	1,771,075
特別利益		
固定資産売却益	365	137
特別利益合計	365	137
特別損失		
固定資産除売却損	4,532	1,066
特別損失合計	4,532	1,066
税金等調整前当期純利益	1,545,298	1,770,146
法人税、住民税及び事業税	417,405	466,485
法人税等調整額	△13,910	△43,958
法人税等合計	403,495	422,527
当期純利益	1,141,802	1,347,619
非支配株主に帰属する当期純利益	28,158	39,522
親会社株主に帰属する当期純利益	1,113,644	1,308,096

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
当期純利益	1,141,802	1,347,619
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,936	33,197
為替換算調整勘定	△154,602	167,574
その他の包括利益合計	△125,665	200,771
包括利益	1,016,137	1,548,391
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,004,354	1,490,006
非支配株主に係る包括利益	11,782	58,384

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	547,436	681,385	3,077,186	△22,729	4,283,279
当期変動額					
剰余金の配当			△108,664		△108,664
親会社株主に帰属する当期純利益			1,113,644		1,113,644
自己株式の取得				△3,100	△3,100
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	1,004,980	△3,100	1,001,879
当期末残高	547,436	681,385	4,082,166	△25,829	5,285,158

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	195,839	△742,675	△546,836	212,919	3,949,362
当期変動額					
剰余金の配当					△108,664
親会社株主に帰属する当期純利益					1,113,644
自己株式の取得					△3,100
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	28,936	△138,225	△109,289	11,782	△97,507
当期変動額合計	28,936	△138,225	△109,289	11,782	904,372
当期末残高	224,775	△880,901	△656,126	224,702	4,853,735

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	547,436	681,385	4,082,166	△25,829	5,285,158
当期変動額					
剰余金の配当			△108,628		△108,628
親会社株主に帰属する当期純利益			1,308,096		1,308,096
自己株式の取得				△5,317	△5,317
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	1,199,467	△5,317	1,194,150
当期末残高	547,436	681,385	5,281,634	△31,147	6,479,309

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	224,775	△880,901	△656,126	224,702	4,853,735
当期変動額					
剰余金の配当					△108,628
親会社株主に帰属する当期純利益					1,308,096
自己株式の取得					△5,317
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	33,197	148,712	181,909	58,384	240,294
当期変動額合計	33,197	148,712	181,909	58,384	1,434,444
当期末残高	257,972	△732,189	△474,216	283,087	6,288,179

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,545,298	1,770,146
減価償却費	231,434	252,205
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,334	△9,873
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,124	8,098
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,571	1,330
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	23,498	33,972
受取利息及び受取配当金	△19,147	△16,559
支払利息	6,897	7,208
為替差損益 (△は益)	△4,314	9,460
有形固定資産除売却損益 (△は益)	4,166	929
売上債権の増減額 (△は増加)	△380,726	△511,755
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△155,644	△115,375
仕入債務の増減額 (△は減少)	△50,933	△7,161
その他	138,635	△135,330
小計	1,344,525	1,287,295
利息及び配当金の受取額	18,410	15,993
利息の支払額	△7,105	△7,270
法人税等の支払額	△209,690	△502,746
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,146,139	793,271
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△724,312	△1,474,303
有形固定資産の売却による収入	377	137
投資有価証券の取得による支出	△1,141	△1,155
無形固定資産の取得による支出	△2,622	△3,276
貸付けによる支出	△1,200	△10,000
貸付金の回収による収入	7,780	17,593
投資活動によるキャッシュ・フロー	△721,119	△1,471,004
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△340,000	1,389,200
長期借入れによる収入	700,000	665,805
長期借入金の返済による支出	△116,000	△232,000
自己株式の取得による支出	△3,100	△5,317
配当金の支払額	△108,570	△108,859
その他	△3,604	△3,304
財務活動によるキャッシュ・フロー	128,724	1,705,523
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28,921	13,319
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	524,822	1,041,110
現金及び現金同等物の期首残高	1,352,022	1,876,845
現金及び現金同等物の期末残高	1,876,845	2,917,955

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、各セグメントへの経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「ヘルスケア事業」と「プラスチック製品事業」の2つを基本に事業を営んでおり、事業部単位で包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは「ヘルスケア事業」及び「プラスチック製品事業」の2つを報告セグメントとしております。

「ヘルスケア事業」は、コンドーム、医療用ゴム製品及び生活自助具等を製造・販売しております。「プラスチック製品事業」は、食品用包装フィルム及び事務用ファイル等を製造・販売しております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」に記載のとおりであります。

なお、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	ヘルスケア 事業	プラスチッ ク製品 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,240,536	1,248,862	5,489,398	220,907	5,710,305	—	5,710,305
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,240,536	1,248,862	5,489,398	220,907	5,710,305	—	5,710,305
セグメント利益又は損失 (△)	1,854,719	174,318	2,029,038	△36,054	1,992,984	△332,912	1,660,071
セグメント資産	7,295,827	916,145	8,211,973	62,879	8,274,852	1,819,825	10,094,677
その他の項目							
減価償却費	208,658	9,015	217,674	2,343	220,017	11,416	231,434
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	621,169	10,285	631,455	19,309	650,764	11,035	661,800

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、巡回入浴等のサービスや日用雑貨品等を製造・販売しております。

2 セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去と各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門に係る費用であります。

セグメント資産の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

3 セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸 表計上額 (注)3
	ヘルスケア 事業	プラスチック 製品 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,445,541	1,245,079	5,690,620	218,730	5,909,351	-	5,909,351
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	4,445,541	1,245,079	5,690,620	218,730	5,909,351	-	5,909,351
セグメント利益又は損失 (△)	1,754,044	132,451	1,886,495	△36,568	1,849,926	△371,922	1,478,004
セグメント資産	10,939,372	1,004,065	11,943,437	218,655	12,162,093	3,072,973	15,235,066
その他の項目							
減価償却費	224,302	10,717	235,019	4,874	239,894	12,310	252,205
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	3,197,853	18,227	3,216,080	145,302	3,361,382	3,962	3,365,345

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、巡回入浴等のサービスや日用雑貨品等を製造・販売しております。

2 セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去と各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門に係る費用であります。

セグメント資産の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

3 セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
1株当たり純資産額	426.13円	552.98円
1株当たり当期純利益金額	102.50円	120.44円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	1,113,644	1,308,096
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(千円)	1,113,644	1,308,096
期中平均株式数(千株)	10,864	10,860

(重要な後発事象)

該当事項はありません。